

【教育委員会議事録】平成29年10月定例会

開催日時	平成29年10月31日（火） 9：30～11：00
開催場所	下関市教育センター 3階中研修室
出席委員の氏名	波佐間 清（教育長） 藤井 悦子（教育長職務代理者） 児玉 典彦 林 俊作 伊東 まさ子
欠席委員の氏名	欠席なし
委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名	<p> 教育部長 萬松 佳行 教育部理事 伊藤 信彦 教育部次長 井上 成人 教育政策課長 藤田 信夫 学校教育課長 木下 満明 教育研修課長 三井 清 学校支援課長 宇都宮 義弘 学校保健給食課長 山野 正俊 教育指導監（生徒指導推進室長） 瀬下 信二 生涯学習課長 中嶋 浩昭 文化財保護課長 沖吉 洋一郎 図書館政策課長 高森 俊明 美術館長 中村 美幸 歴史博物館館長補佐 古城 春樹 土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム館長 松下 孝幸 下関商業高等学校事務長 冨田 智雄 菊川教育支所長 林 文男 豊田教育支所長 石田 正成 豊浦教育支所長 日吉 克浩 豊北教育支所長 西村 敬教 教育政策課長補佐 岡本 誠也 教育政策課主査 村田 浩樹 教育政策課主任 松富 潤 </p>
傍聴人の数	傍聴人なし

次第（目次）

【開会の宣告】	P 3
【署名委員の指名】	P 3
【教育長報告】	P 3
【議案審議】	
第49号 教育功労者表彰について	P 7
【報告事項】	
小・中学校教育環境整備事業について	P 8
下関市青少年補導委員の委嘱について	P 9
下関市産恐竜卵化石展示公開事業 「発見! 恐竜卵化石」～日本初の恐竜化石は下関で発見されていた～の開催について	P 10
重要文化財旧下関英国領事館の開館時間の変更について	P 11
国指定天然記念物「川棚のクスの森」の現地調査及び今後の対応について	P 12
【その他】	P 14
【閉会の宣告】	P 16

【開会の宣告】

波佐間清(教育長)

皆さん、おはようございます。教育委員会10月定例会を開催いたします。

今日の嬉しいニュースで、ユネスコの登録の勧告が新聞にも出ておりましたが、昨日の夜、町田館長から「朝鮮通信使の件で登録勧告が出ました」ということで連絡があって、大変嬉しく思っているところです。また、詳しいことは、今日は古城さんが来ておられるので、あとでまた報告をしていただければと思っています。

高校野球の方も、中国大会で下関国際高校が頑張っていて、今日勝てばなんとか選抜の可能性があると、昨日の夜、武田副理事長と「優勝してくる」「今日は応援に行く」というような話をしていました。どういうふうになるか、期待をしていきたいなと思っています。

【署名委員の指名】

波佐間清(教育長)

それでは、本日の議事録の署名委員につきましては「藤井委員」「林委員」にお願いをいたします。

本日の日程につきましては、日程1の議案が1件。日程2の報告事項が5件。日程3その他となっております。

【教育長報告】

波佐間清(教育長)

それでは、議案の第49号の審議に入る前に教育長報告を行いたいと思います。お手元のページ、今回行事が非常に多くて、すべてはお話ができませんが、主なものだけかいつまんで報告をしたいと思います。

最初、「ShiMoBiでガーデンアート」。これは美術館の方で開催され、大変盛況でありました。一般市民が美術館に足を運んで、気楽にアートに触れるという企画、今年で第2回目。特に豊浦小学校の金管バンドというか、これが非常に良く頑張ってくれて、盛り上げてくれました。美術館の方、色々お疲れでございました。

それから次は「みらい塾」。中学校の4校で「命の授業」、腰塚勇人さん。腰塚さんと、個人的にやりとりをやっているのですが、全国各地で腰塚さんの講演があるわけですが、下関でも中学校を回っていますけれど、他所の講演会を見ると、大きな看板というかそういうのを掲げて講演会をというようなことが非常に多くて、下関の方は中学校にただ歓迎していただいて、子供達に話してもらっていますけれど、そのくらい色々な地域では歓迎の大きな垂れ幕がかかったり、表題がかかったり、というのが多く見受けられて。中学校によってはそういうことをきちっとやっている学校もありましたけれど、そういうような状況であるということも、また素晴らしい話をしていただいていること、腰塚さんは元中学校の体育の先生でありますので、学校の先生方に激励するというか、そういうお話もされるので、大変勇気を頂ける、そういうような気がしております。また、主催者に対しても非常に配慮されて、もう始まる前の日にそこの中学校の校長先生宛に手紙がいく。終わったら礼状がいく。私のところはもう必ず前の日に「明日よろしく願います」というメールが入ります。そのくらい配慮の行き届いた方です。

それから、「小学校の中国の派遣」。これは、今年は韓国へ行くのができなかったもので、例年、小学生10名だったのが15名ということで、こちらの方に韓国派遣団の半分ほど行ってもらうことになって、15名が行ってまいりました。とても良かったということでもあります。

それから「小学生の税に関する絵はがきコンクール」。今年行って見て審査をしている中で、大変喜ばれました。なにかと参加数が非常に伸びた。子供達の絵がたくさんあって、「税に関する絵はがきコンクール」に協力をしていただいている。校長会、また、お礼を言ってほしいと思いますが、そういう評価がありました。我々審査するのに、非常に良い作品がたくさんあって悩んだところでもあります。

それと、レノファ山口の選手たちに熊野小学校に行っていただいて、子供達とふれあいイベントがありました。給食をレノファの選手と食べて、そこにキャリア教育、選手と給食、選手と児童のふれあいと書いてますが、キャリア教育というのはこの桜山小学校出身の中山元気君、この方が U-18 の監督をやっておられて、その方が講演をしました。自分が活躍していった過程、どうやっていったかというあたり、仕事として選ぶかどうか、そういうことも含めて良い話でした。身近な桜山小出身ですので、子供達は非常に身近に感じて、小塚選手とラモス選手、この2人が来て、私はラモス選手と一緒に給食を食べました。子供達と後で記念写真を撮ったのですが、とても喜んだというところでもあります。この度レノファが1対0で勝ったので、良かったなというふうに思います。

それから、「小学校の体育大会」がありました。菊川、市の陸上競技場、室津、豊北、一応今回あるところ全部回ってみました。久しぶりに回ったんですが、どこの地域も頑張っていました。豊北に行った時にちょっと霧雨で、風も強くて、豊北中学校は山の上なので非常に寒かったです。コンディショニング的には1番悪かったかなというふうに思いましたが、子供達は一生懸命頑張っていました。

それから10月13日は「山口県市教育委員協議会」ということで、研修会が周南市でありまして、特に「道徳教育について」ということで、徳山小学校の取り組みと、この道徳についての東岐波小学校の校長先生が解説をしていただきました。また後ほど、この辺の感想も含めて委員さんからお聞きをできればと思います。

それから次のページですが、「PTA連合会教育懇談会」。例年のことでありますが、いろいろ要望をいただきました。

それから、「龍馬没後の150年記念特別展「龍馬がみた下関」の開会式」。歴史博物館の方で盛大に開催され、多くの方が来られました。

それから「下商の同窓会」。

「みずび交流プロジェクト子供交流会」で、今年初めて名池小学校で引き受けていただきました。それまでは文関小学校でやっていたのですが、みずびの小路もある1番のところということで名池小、仙崎小学校と通小学校が来られて、感想を聞きましてけれど、「とても良かった」という感想をいただきました。校長先生方、両方の校長先生方からお礼状が来ましたが、大変喜んでおられる様子がありました。この交流、今度は向こうに行くわけですが、大切な交流だなと思っています。

それから、「中国地区の都市教育長会議」が今年は松江で開かれて、文科省の財政室長から講演を聞き、学校教育の方は「岩国市がめざす小中一貫教育」と、鳥取市の「公民館を拠点とした社会教育体制の再構築」という発表を聞きました。この中で、松江市と鳥取市が20万都市ですが、中核市の方に入りたいという要望があるみたいで、現在、中核市は48ありますが来年度はだいぶ増えそうだなと。いずれ60くらいになるのではないかなと感じています。そんな話も余談として出ました。

それから、「下関東ライオンズクラブ認証55周年記念大会」が、10月22日にシーモールパレスであったわけですが、この中で特に東部地区の7つの小・中学校、小学校が5つ、中学校が2つ、それに本の贈呈。1校約15万ずつ。これは、東ライオンズは毎回、記念の年、5年おきに、その地区に本の贈呈をして、これまでも随分東ライオンズ寄贈の本棚に入れていきますので、かなりの量になっているのではないかなと思っています。それと、110番の幟、それから小月駅の防犯灯、防犯カメラの寄贈などがあって、本を贈呈いただいたので感謝状を私達教育委員会からお渡しをしました。警察の方からも防犯灯のお礼ということでお渡しをされました。

次に「市の芸術文化祭の小・中学校の音楽祭」。市民会館、菊川のふれあい会館、学習プラザ、この3つであって、それぞれに私も行って挨拶をさせていただきました。子供達、良く頑張っていて素晴らしい音楽を聞かせてくれました。

4ページの方について、「長門市と下関市の両市長の会談」が、10月24日長府庭園で話し合いをしました。話し合いが済んだ後、歴史博物館の方に視察に行かせていただいて、龍馬展を見て帰りました。両市長とも「交流をこれからもさらに進めたい」ということであります。

それから、「県・市町教育長意見交換会「ともに一ティング」」。これが、豊浦小学校の学校視察、

あそこに資料館がありますが、皆さん資料館を見られて大変驚いておられました。乃木大将や毛利家の遺品等も含めて、田上菊舎もありましたし、資料館としてこれだけ大きな資料館を持っている学校は県下ではありません。豊浦小学校だけです。それに匹敵するのが、周南市の徳山小学校は、校長室の隣に貴賓室という部屋があって、孔子の銅像があります。それから、萩の明倫館、今学舎になりましたけれど、古い方の時には正面玄関入って2階に上がると、来賓室というかそんな部屋があるんですけど、その部屋なんかも凄く趣があって、この3つがある意味特徴的な学校かなということを感じました。終わってから午後、こちらの教育センターで、県下の市と町の教育長さんが来られて、ここでグループ協議、演題は「ふるさとを愛する心の育成」ということをテーマにグループ協議をさせていただきました。意見交換をしっかりと、県の教育長も来られて、お茶でのおもてなしを教育長室で行いました。それにも感激をさせていただきました。

それから、「坂本龍馬没後150年記念シンポジウム」がこの28日の土曜日に生涯学習プラザ海のホールであったのですが、桐野さんの基調講演と、シンポジウム「志士たちがみた下関－希望の街へ」ということで、市長がコーディネーター役で西郷隆盛、坂本龍馬、三吉慎蔵、伊藤九三、白石正一郎、この5人の子孫の方がパネリストで発表されました。「未来への風」に書き、今日発信していますので、また読んでいただければと思います。特に印象に残っているのは、西郷さんが「西郷隆盛、坂本龍馬、個人が偉いのではない。それを育てた母親が最も偉いんだ」と。母の教育をもう1回、見つめ直さなければならないということ、私は強く感じたところであります。その他色々ありますが、また、感想を述べていただこうと思っております。

最後に、「芸術文化祭の開幕式」が美術館であって、奨励賞を含めて、大賞、特別賞等の表彰があって、林さんのお母さんも自画像を描いておられて。また、皆さん見に行かれたらと思っております。

主な報告は以上であります。教育委員さんの方からありましたら。それでは児玉委員さん。

児玉典彦(教育委員)

坂本龍馬没後150年記念シンポジウムに顔を出したのですが、シンポジウムは構成がとても素晴らしくて、聞きごたえがありました。初めてシンポジウムを企画して、練って、形にするというのは大変だろうと思って、本当に感心しました。また、特別展も見ごたえがありました。特にこの図録は鈍感な私でもいい図録だなと思って、私、思わずこれをずっと読み入ってしまいました。本当に、これだけの企画をされた歴史博物館の皆様に感謝を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

波佐間清(教育長)

また古城さんが言われるかも知れませんが、下関の歴史博物館が龍馬の遺品なり、関係の資料は日本中でここが1番多いそうです。また後、自慢をしてもらおうと思っておりますが、そのくらい凄いものがあるので、皆さんもどうぞ行ってください。

児玉典彦(教育委員)

できたら、高杉晋作も同じような特別展とシンポジウムをおやりいただいたらと思います。以上です。

波佐間清(教育長)

要望ができました。いつもやっているとこではあると思いますが、また、考えてみてください。他に。藤井委員さん。

藤井悦子(教育長職務代理者)

私は10月22日に、第1回目ということで、特別展「遙かなる音の世界」に合わせて開催された「ミュージアム・コンサート in 考古博2017」に行っていました。その日は台風と選挙の影響があり、あまり来館者はいませんでした。南高と梅大の学生による琴とハンドベルの演奏はとても素晴らしかったです。この考古博物館には、市内から出土した日本初の弥生時代の

土笛や恐竜の化石が展示されています。また、11月5日には次のミュージアム・コンサートが開催されるので、この機会に子供達や地域の方々には是非、来館して頂きたいです。

波佐間清(教育長)

考古博物館初めての試みで、台風で大変だったと思いますが、どうでしたか。

沖吉洋一郎(文化財保護課長)

初めてということではなくて、一昨年1度やっておりますので2回目ということですけども、こうした取り組みを今後もずっと継続的に、音楽だけじゃなくて他の要素とかも絡めながら、本格的な催しとして定着させていければいいかなと考えています。

波佐間清(教育長)

はい、ありがとうございます。次もあるみたいですので、どうぞ行ってください。他にありますか。林委員さん。

林俊作(教育委員)

私は、この中では最後の芸術文化祭と、教育委員会協議会研修会に行っていました。道徳教育ということで、これから新しい教科、ある程度道徳の話を色々と聞いていましたけども、先生が、本当にストレスが溜まるような仕事になるなという感じを非常に思いました。子供から常に尊敬される人であれというような感じの内容で、帰ってから道徳の本も教科書でいただいたのはあるので見てみましたが、ますますストレスが溜まるのではないかなということでした。教育委員会の方もこれは相当フォローがいるのではないかなと。今回あれでやるということですが、たぶんこの通りにはいかずに、どたんばったんしながら最終的なものが出来上がっていくんだろうなというふうに感じました。なかなか大変だと思います、道徳というのは。半分は「人の生き方」みたいな話になるので。先生もストレスが溜まる教科じゃないかなということに非常に感じたというところでもあります。

で、芸術文化祭の方は先ほども言いましたが、母親と妹と出しておまして、賞はもらってないですけど、市民としてああいうところに飾ってもらえると、色んな人が来て見ますので、大変良い試みだろうというふうに思いました。私の方も大津屋という私がやっている会社がありまして、今年300年になりますので、あの時に切り絵の村井先生が出ておりましたので、古い大津屋の写真を綺麗にして、300年前の写真はありませんけど、江戸時代の写真が何枚かありますので、それを綺麗にもらってお話をさせていただいたりして、充実した会だったというところでもあります。以上です。

波佐間清(教育長)

昨日の毎日新聞ですが、反田支局長の評論がありました。これに「茶道から学ぶ」というのが書いてあって、表千家の村岡さんのお家に行かれてお茶を飲まれた体験が書いてありました。私の部屋にも今回、教育長さん達皆来ていただいて、おもてなしのお茶を一服差し上げましたが、忙しい時にお茶の一服を飲んで心を落ち着かせる、そういう効果もあるし、とても良い体験であったということが書いてあるわけですけど、この度、児玉委員と一緒にソロプチミストのお茶会に参加をいたしました。正式な方には時間がなくて一席だけ入ったのですが、児玉委員が「正式なお茶を初めて体験した」ということで、先ほども少しお話をしたのですが、ちょっと感想めいた言葉がありましたら。

児玉典彦(教育委員)

私は、スポーツの世界でずっと生きてきたので、お茶の席、正式な席に参加したのは初めてで、趣があって、本当に気が引き締まるし、だけどリラックスもできるというので、足が痺れた以外はとても良い経験でした。

波佐間清(教育長)

私の部屋は椅子に座ってですので足は痺れませんが、正式なところに行くと正座をして30分くらいは座っておかないといけないので、ちょっと大変かも知れませんが、そういう時も皆さん方も必要ではないかなというふうに思ったところであります。

それでは、余談になりましたが、教育長報告につきましては以上で終わりたいと思います。議題の方に入りたいと思います。

【議案審議】

議案第49号 教育功労者表彰について

波佐間清 (教育長)

日程1の議題「議案第49号 教育功労者表彰について」、5ページであります。お願いをいたします。教育政策課長。

藤田信夫(教育政策課長)

教育政策課でございます。「議案第49号 教育功労者表彰について」ご説明をいたします。資料の方は5ページになっております。本議案は、下関市教育委員会表彰規則第7条の規定に基づきまして、教育功労者を決定しようとするものでございます。この度は、規則第4条第1号に係る定期表彰と、随時表彰であります篤行表彰の提案となります。定期表彰につきましては、表彰者は功績表彰が23名、永年勤続表彰が4名の計27名となっております。表彰者のお名前、功績の要旨につきましては資料の6ページから10ページ、また別にお配りしております選考委員会資料をご参照いただければと思います。

次に、篤行表彰ですが、博物館活動の充実を願われ、2名の方からそれぞれ、下関市立歴史博物館に対しまして、資料のご寄附がございました。表彰者のお名前、表彰事由につきましては資料の11ページ、また別にお配りしております資料をご参照頂ければと思います。今回の表彰者の方々につきましては、9月28日に選考委員会を開催いたしまして、その中で教育委員会表彰規則、内申調書及び内規等に照らしまして、いずれも適当であるとされたものでございます。説明は以上でございます。ご審議の程、よろしく願いいたします。

波佐間清(教育長)

はい。ただいま説明がございましたが、ご質問、ご意見がありましたらお願いをいたします。特にございませんか。

(ありません)

波佐間清(教育長)

それでは、特にないということなので、議案第49号について承認としてよろしいでしょうか。

(はい)

波佐間清(教育長)

それでは、承認といたします。

林俊作(教育委員)

この表彰というのは、1人の人が2回もったり3回もったりするようなことがあるんですか。

藤田信夫(教育政策課長)

事由が異なれば表彰を2回受けることはございます。1つについては1つの基準を設けており

ますので、それで2回というのはございませんが、該当が変われば2回ということはあり得るかと思われまます。

【報告事項】

小・中学校教育環境整備事業について

波佐間清(教育長)

それでは次に、報告事項に入りたいと思います。「小・中学校教育環境整備事業について」、12ページをお開き頂ければと思います。学校支援課長。

宇都宮義弘(学校支援課長)

学校支援課でございます。ご報告いたします。まず、小・中学校教育環境整備事業としまして、本教育委員会では、扇風機の設置およびトイレの洋式化を掲げております。資料12ページは扇風機の設置業務につきましてのご報告でございます。夏場の暑さ対策として平成28年度から4ヶ年計画で、普通教室、特別支援教室、通級指導教室等に原則、壁掛型の扇風機を3台ずつ設置するものでございます。本年度につきましては、小学校は、昨年度積み残した小学6年生の教室の一部と5年生の普通教室を中心に、49校174教室369台、中学校につきましては、中学2年生の普通教室を中心に、17校58教室163台を整備いたしました。ですから、平成28・29年度の2年間で、小学校につきましては、221教室509台の事業の達成率37.6%でございます。また中学校につきましては、139教室382台の事業の達成率58.2%でございます。事業の効果及び次年度の整備する上での参考として、昨年度と同様に整備した学校、小・中合わせて66校を対象にアンケートを実施いたしました。アンケートの結果につきましては、お示ししているとおりでございます。問4の聞き取り結果に書かれていますように、指摘としては「夏季の前の時期に設置してほしい」。写真でご確認のように、教室の後ろ、掲示板のところに扇風機を設置していますので、「掲示場所が影響した」というところと「他の学年も早く設置してほしい」というご意見を頂戴しております。扇風機の使用は、室温を下げることはできませんけれども、教室内の空気の循環を促すことと、風が当たれば体感的にも涼しさを感じるということで一定の効果があるものと考えております。なお、資料には表記していませんけれども、扇風機の整備根拠として、小学校では当初予算1,200万円に対して、11件の工事を発注いたしました。契約金額の合計で1,066万2,840円であり、また中学校につきましては当初予算450万円に対し5件の工事を発注し、契約金額の合計が431万7,840円となっております。ですから、小学校につきましては入札の落差金が生じておりますので、年内に追加として、14教室の追加整備を計画しております。以上が扇風機の設置についてのご報告でございます。

続きまして、トイレの洋式化について13ページをお願いいたします。この事業は、児童、生徒が一日の大半を過ごす学校生活の中で、ご家庭の生活環境にあった整備ということで、利便性、健康面を考慮して、学校トイレの洋式化を行うものでございます。従来より、教育委員会では整備方針として、校舎の各フロアに男女1箇所ずつの洋式化に取り組んでおりましたけれども、平成29年度からこれを小・中学校教育環境整備として事業化し本格的に整備をしようとするものでございます。整備の対象となるフロア数は、小学校が222フロア、中学校125フロアの、計347フロアでございます。平成29年度につきましては、小学校が6校6フロア12箇所、中学校につきましては6校6フロア8箇所を整備いたしました。一部工事の入札の不調が原因で工事の着手が遅れ、小学校2校につきましては11月の下旬を完成予定としておりますが、それ以外の学校につきましては完成し、ほとんど供用開始をしております。整備の達成率で申しますと、今年度の整備を含めて、小学校では222フロア中155フロア、事業達成率は69.8%、中学校では125フロア中86フロアの整備が完了し、事業達成率は68.8%、小・中学校合せて69.3%の達成率でございます。次年度以降も同様に整備を予定しておりますけれども、昨年度取り掛かった、まず扇風機の設置を優先的に整備して、整備完了後、トイレの洋式化を本格的に整備し、早期達成に向けて取り組んでいきたいと考えております。資料には改修前、改修後の写真を掲載しております。洋便器の取替え、手摺の取り付け、ドアなど建具の取替えなどが主な

改修内容でございます。これも資料には表記しておりませんが、小学校の改修事業としては、当初予算600万円に対して3件の工事を発注いたしました。契約金額は合計で567万でございます。中学校については当初予算400万円に対して3件の工事を発注し、契約金額は353万1,600円となっております。簡単ではございますが、扇風機の設置、トイレの洋式化の整備状況についてご報告いたします。以上でございます。

波佐間清(教育長)

今、報告がございました。扇風機の設置とトイレの改修ということ、洋式化ということでありましたが、委員の皆さんご意見がありましたらお願いいたします。はい、児玉委員。

児玉典彦(教育委員)

財政状況の厳しい中で、順次、扇風機の設置をしていただいて、ありがとうございます。私も現場に居る時は、扇風機がある教室は、とても授業を受けやすくなっており、だいぶ違います。どうか、予算をやりくりして、なるべく早く設置をしていただければと思います。本当にありがとうございました。

波佐間清(教育長)

はい。ありがとうございます。早くつけてほしいという意見もありますので、ひとつよろしくお願ひしたいと思ひます。他にご意見ありませんか。はい、林委員。

林俊作(教育委員)

これは31年でだいたいこのまま学習する教室は全部完了でしたかね。全部の小学校・中学校に対して扇風機がつくという。

宇都宮義弘(学校支援課長)

そうですね。普通教室と特別支援教室、通級教室については完了でございます。

林俊作(教育委員)

それは、勉強する環境は今よりは良くなると思ひますので、遅れないようにしっかりやってください。もう子供も今は皆、家に帰ったらクーラーがある環境で暮らしてると思ひますので、少しでも学習環境を良くするということは大事だと思ひますので、引き続きよろしくお願ひをいたします。遅れないようによろしくお願ひします。

波佐間清(教育長)

よろしくお願ひします。他に。よろしいでしょうか

(はい)

波佐間清(教育長)

ないようでしたら、報告済みといたします。

【報告事項】

下関市青少年補導委員の委嘱について

波佐間清(教育長)

続きまして「下関市青少年補導委員の委嘱について」、14ページ、お願いいたします。生涯学習課長。

中嶋浩昭(生涯学習課長)

生涯学習課でございます。それでは、下関市青少年補導委員の委嘱について説明いたします。資料は14ページでございます。本市は、問題青少年の早期発見、早期補導等の活動をするため、専門委員として下関市青少年補導委員を設置しております。このたび、校区補導委員の定数欠員を補充するため、日新校区の寺尾文彦氏を平成29年10月1日付けで、新たに委員として委嘱しました。任期は、平成31年5月31日までとなっております。以上、報告をいたします。

波佐間清(教育長)

はい、ありがとうございました。この補導委員の委嘱について、お1人ですが何かございますか。よろしいですか。

(はい)

波佐間清(教育長)

それでは、ないようですので報告済みといたします。

【報告事項】

下関市産恐竜卵化石展示公開事業

「発見! 恐竜卵化石」～日本初の恐竜化石は下関で発見されていた～の開催について

波佐間清(教育長)

続きまして、「下関市産恐竜卵化石展示公開事業」ということで、報告をお願いしたいと思います。文化財保護課。

沖吉洋一郎(文化財保護課長)

文化財保護課でございます。よろしくお願ひいたします。それでは、「下関市産恐竜卵化石展示公開事業」についてご報告をいたします。お手元にチラシもお配りしておりますけれども、タイトルは「発見! 恐竜卵化石」～日本初の恐竜化石は下関で発見されていた～としております。本市におきまして、昭和40年に恐竜卵の化石が採取されまして、これは国内最古となり、またこれまでに確認されていない種類の恐竜であることについて、本年の6月に報道発表をしたところでございます。本市でも恐竜卵化石の展示について、化石の所有者である清水さんにご同意をいただき、また、10月15日まで当該卵化石の特別展示が行われておりました福井県立恐竜博物館とも調整ができましたので、本市におきまして公開展示をするものでございます。会期は平成29年11月18日土曜日から平成30年1月21日日曜日を予定しており、毎週月曜日、それから12月28日から1月4日までの年末年始は休館となります。場所は下関市立考古博物館特別企画展示室で、入場は無料でございます。展示資料は、清水氏が所有される恐竜卵化石実物8点のほか、発見時に作成されました実測図や記録写真、また福井県立恐竜博物館からお借りする本市恐竜卵化石レプリカ1点、解説パネル等となっております。なお、関連行事といたしまして、12月16日土曜日に午後1時30分から午後4時30分までの予定で、考古博物館講堂におきまして、記念講演会およびミニシンポジウムの開催を予定しております。講演会は福井県立恐竜博物館研究員に「下関における恐竜卵化石発見の意義」についてお話しいただく予定でございます。また、所有者の清水さんを交えまして、福井県立恐竜博物館研究員、美祢市化石館、本市関係者をパネラーとして、ミニシンポジウムを行う予定にしております。なお、この公開展示と同時期に、中学生以下の児童に、古代の生活や文化をテーマに描いてもらいました絵を展示しまして、その中から優秀作品選ぶ「第19回弥生絵画展」をあわせて開催する予定でございます。せっかくの機会でございますので、是非、お越しく下さい。以上です。

波佐間清(教育長)

はい。報告がありました。何かご意見がありましたらお願いします。これは、11月18日か

らですが、何かオープン式かなにかやるのですか。

沖吉洋一郎(文化財保護課長)

オープン式というのは予定していないのですが、それに代わるものとして、12月16日に記念講演会とミニシンポジウムをやらせていただくということでございます。

波佐間清(教育長)

テープカットとかしない。

沖吉洋一郎(文化財保護課長)

それは今のところ。

波佐間清(教育長)

あまり大きなものではなくても、マスコミにアピールしていくのに、そういうようなことも考えてみてください。せっかくですので。テープカットする人がいなかったら、教育委員さんに並んでいただいて。せっかく下関で日本初めてのこの卵が発見されたという、当時、発表時も非常にニュースとしては流れましたが、本人が12月16日には来られるということで、そういう意味では化石発見者のお話も聞けるということで、興味がある人は非常に興味深いと思うので、こういうイベントを通して、是非、下関にこういうものがあるというアピールができると思います。よろしくお願いをしたいと思います。はい、藤井委員さん。

藤井悦子(教育長職務代理者)

考古博物館には、市内の6年生の1/3が学習の一環として来館するようです。また、広島県等の他県からも修学旅行で多くの子供達が来館します。折角、市内に考古博物館があるのに、市内の子供達の来館数が少ないというのは残念に思います。より多くの子供達に来館してもらるように学校の先生にも働きかけて周知していく必要があると思います。

波佐間清(教育長)

また、校長会等でもしっかりアピールをしてもらって覗いてもらうように、よろしくお願います。よろしいでしょうか。

(はい)

波佐間清(教育長)

それではないようでしたら、報告済みといたします。

【報告事項】

重要文化財旧下関英国領事館の開館時間の変更について

波佐間清(教育長)

次に、「重要文化財旧下関英国領事館の開館時間の変更について」お願いをいたします。文化財保護課。

沖吉洋一郎(文化財保護課長)

文化財保護課でございます。資料17ページをお願いいたします。「重要文化財旧下関英国領事館の開館時間の変更について」、ご報告いたします。重要文化財旧下関英国領事館の設置等に関する条例第6条におきまして、旧領事館の開館時間を午前9時から午後5時までと定めています。旧下関英国領事館や亀山八幡宮、海峡ゆめタワーなどにおきまして、11月18日土曜日、それから19日日曜日の両日は、「関門海峡キャンドルナイト2017」と題しまして、唐戸や海

峡ゆめタワーなどでキャンドルの点灯や様々な演奏会が開催されます。このため、11月18日および19日の両日は、多くの集客効果が見込め、地域のにぎわい創出にも寄与できることから開館時間を午後10時まで延長させていただきたいと考えています。以上、報告します。

波佐間清(教育長)

はい。ありがとうございます。開館時間の変更で、今のイベントがあるということに合わせてということですか。何かご意見ありますか。特に、よろしいでしょうか。

(はい)

波佐間清(教育長)

はい。ないようですので、報告済みといたします。

【報告事項】

国指定天然記念物「川棚のクスの森」の現地調査及び今後の対応について

波佐間清(教育長)

続いて、「国指定天然記念物「川棚のクスの森」の現地調査及び今後の対応について」の報告をお願いいたします。豊浦教育支所。

日吉克浩(豊浦教育支所長)

豊浦教育支所の日吉でございます。それでは、「国指定天然記念物「川棚のクスの森」現地調査及び今後の対応について」報告をさせていただきます。ページは18ページをご覧ください。8月30日の定例会におきまして、「8月8日に山口県樹木医会の現地調査を実施し、同月11日に診断結果に基づく緊急対応策を実施いたしました。」と報告をさせていただきましたので、8月定例会以降の対応報告となります。9月3日、県内樹木医10名程度が集まり、今後の検討協議を実施したところですが、同月18日に文化庁推薦樹木医から樹木根を痛めないための別提案がなされたため、県内樹木医会と情報共有し、再度工法について検討を行うために平成29年10月5日午前9時より、「川棚のクスの森」に隣接する自治会集会所に於いて、文化庁より推薦された3名のクスノキの専門樹木医等に、これまでの経緯や平成24年度に実施いたしました整備工事の概略などを説明した後、山口県樹木医会と合同現地調査及び今後の対応について協議を実施いたしました。現地調査の実施内容につきましては、主幹の南東側及び南西側の2ヶ所を50cm程度掘削して根の状態を確認しました。概要については県及び国へ報告済みです。真砂土部分に新しい細根があり、従来からの土に大きな根が確認できたが、細根は健全なものもあったが、深い部分の根はダメージを受けていました。次に、高所作業車により枝や葉の状態を確認いたしました。柵内に埋めこんだDOパイプ(酸素管)の状況を確認しました。北側斜面について、整備工事に伴う盛り土の状況を確認いたしました。【文化庁推薦樹木医等の所見】でございます。「①原因の特定は不可である。このため、改善効果の確実に期待できる対策についての検討が困難である。②効果のほどは確証がないが、対応策として考えられることは、土壌の通気・透水性の改善を図ること。ただし、根系への負担が極力少ない工法、水圧穿孔法を選択すること。③エアレーションと同時に計画していた活性剤の散布は、実際の効果は疑問であるため今後は不要である。ただし、穿孔径が数センチと小さいため、50～100cm程度の感覚で穿孔し、その後矢竹の節をつぶしたものなどを挿入し、土壌の通気や透水性が維持されるよう工夫すること。④枯損した枝・幹から水分が蒸散することを防ぐため、強剪定する伝統的な対策があるが、胴吹きも認められることから、すぐさまの処置はせず、来年6月ころまでの経過観察を行い、樹勢状況を把握したうえで、対応を決定すること。⑤今後は、人為的散水はやめ、自然降雨による散水のみとする。⑥芝地の除草薬剤散布については、悪影響が懸念されるため、今後は取りやめ、経過を観察すること。⑦踏圧を避ける範囲を拡大すること。そして、【予定している今後の対応】といたしましては、「①水圧穿孔法によるエアレーションの実施。50～100cmピッチで行う。穿孔後、矢

竹等の節を敲打したものを挿入する。薬剤注入散布は実施しない。② 沿路外周の立ち入り禁止の範囲を拡大し、踏圧のおよぶ範囲を減少するよう適正な範囲を検討すること。適正な範囲の緊急措置につきましては10月14日土曜日に実施をされています。③ 継続的な経過観察。随時、文化庁推薦によるクスノキの専門樹木医等との情報の共有を図ってまいります。参考といたしまして、21ページに「川棚のクスの森」踏圧対策範囲を示しております。この踏圧対策範囲はクスノキの根が張っている範囲を想定しており、この範囲で水圧穿孔法によるエアレーションの実施を予定しています。エアレーション実施後、見学等による踏圧により通気の入口がふさがれることが無い様に一時的に立入規制をするものでございます。以上をもちまして、「国指定天然記念物「川棚のクスの森」の現地調査及び今後の対応について」の説明を終わらせていただきます。

波佐間清(教育長)

はい、ただいま報告がございましたが、ご質問がありましたらお願いをいたします。今回、文化庁の方から3名の方に来ていただいて、こういう調査をしていただきましたが、今の現状報告をしていただきました。地域の方々もこの大きな「川棚のクスの森」については、非常に心配をしておられ、我々市長もふくめて、関心の高いものでありますので、何とか回復をすると良いかと願っているところでありますが。今の報告のなかで、6月まで一応経過観察をとっているところの状況で、今後の対応についてはここに3つほど掲げているということで、その後の変化というか、経過観察をしていて、新しい芽が出るとか何かそういうような兆候みたいなのは何かあるのでしょうか。その辺はどうですか。

日吉克浩(豊浦教育支所長)

招聘しました樹木医等の見解と言いますか、一目見たところでは胴吹きが認められるということで、冬を越せるかどうか課題だろうということです。ですから、経過観察しながら6月に最終的な案をするべきだろうということでした。

波佐間清(教育長)

この冬が越せると、何とか少しでも。もう朽ちているところ、難しいところは随分あるのですよね。

日吉克浩(豊浦教育支所長)

はい。

波佐間清(教育長)

それと、報道関係がかなりその当時も来ていたと思うのですが、報道の方の対応についてはどんなですか。好意的ですか。それとも批判的なとか。その辺はどうですか。

日吉克浩(豊浦教育支所長)

朝日新聞の記者の方は地元の方の気持ちを汲み取りになられまして、かなり好意的な報道の仕方をされておりました。後は、九州のTNC、県外のテレビ局、新聞各社、それぞれが下関のシンボル、市の木に指定されておりますので下関市の元気につながるものだというふうに考えられておりますので、かなり好意的な記事発表、放送だというふうに考えております。

波佐間清(教育長)

ありがとうございます。委員さん、いかがでしょうか。はい、藤井委員さん。

藤井悦子(教育長職務代理者)

現在は、駐車場から様子を見ることはできるが、木の近くは立入禁止ということですか。

日吉克浩(豊浦教育支所長)

はい。21ページにお示ししておりますが、下の駐車場から近くまで行くことはできます。木の確認はできます。思いやり駐車場の方から立ち入り規制をしておりますが、車椅子等の利用の方はコーンを除けて入るようには対応させていただいております。実際、上の方まで上がって見ることは可能でございますので、よろしくお願いいたします。

波佐間清(教育長)

ありがとうございました。他に。はい、林委員。

林俊作(教育委員)

昔は近くに行って触れたと思うのですが、それはできるんですか。

波佐間清(教育長)

はい、支所長。

日吉克浩(豊浦教育支所長)

今の立ち入り規制では、触ることができません。主幹の方はチェーンで規制を張っております。枝の方は従来は触ることができておりました。今の囲いでは触ることはできません。

林俊作(教育委員)

もう今できなくなっちゃったのですね。ご存知だと思いますけど、教育委員会が貴船にあった時に太平山の山に、古い木がいっぱいあちこちから横に伸びたりして、駐車場から出た方は良く見られていたと思うのですが、あれが台風の度にきて、最近はきてないですけど、大きい木が私が子供の頃なんか根元から折れて、下にあった家の屋根を突き破ってドカンと倒れたことがあったりしました。だから、人災にならないように、よく気を付けてやらないと古い木というのは結構大変だろうと思いますので、しっかり管理をしていただけたらと思います。よろしくお願いいたします。

波佐間清(教育長)

はい。他の委員さん、よろしいですか。

(はい)

波佐間清(教育長)

はい。それでは、よろしくお願いいたしますと思います。それでは、報告済みといたします。

【その他】

波佐間清(教育長)

続きまして、日程3その他であります。委員さん、その他ありましたらお願いをしたいと思います。それでは伊東委員さんから。

伊東まさ子(教育委員)

苗字が変わりまして、ご面倒をおかけしますが、よろしくお願いいたします。

2つほど報告させてください。10月1日に垢田幼稚園の運動会に行きました。保育園と一緒にするので、最後の運動会ということで、園児さんはたったの6人でした。9時半から12時までで10種目あったのですが、主役が6人の割にはギャラリーがたくさん来られていて、もうそこのご家族だけではなくて、地域の方がたくさん来られていて、あと、垢田小学校の校長先生の提案で、2・3年前から卒園の小学生がボランティアと手伝いと競技の参加で30人ほど

来ていて、とても盛り上がりを見せていました。で、保育園と幼稚園の園長先生とお話をさせていただいたんですけれども、「本当に地域の方々に助けられてこういうことが出来ているからとてもありがたいと思うし、これからもずっと続けていきたい」ということで、凄く感謝をさせていただきました。中学生・小学生達がおそろいのベストを着ていて、ボランティア隊とって「トマジエルねっ」という名前を付けて、垢田トマトに似せて、あとキャラクターも中学生が考えて赤いベスト来て、まだまだそういう地域の行事、清掃とか運動会とかなんかの時に皆が着て意識を高めて一緒に取り組もうという姿勢があって、とても頼もしいと思って報告させていただきました。

もう1件ですけれども、藤井委員さんと、美祢の方に10月20日、県の移動教育委員会というのに傍聴させていただきました。途中後半からは意見交換会ということで、高校教育課の説明がありまして、県内の高校のコミュニティ・スクール導入の話でした。全国で、高校が導入しているというのは11都道府県しかなくて、その中で2位の神奈川県を抜いて、断トツの26.9%の配置で、山口県は1位なんですけれども、32年度までに52校全校に導入したいというふうに言われていました。6校の事例の説明が色々ありまして、前、教育会議で発表がありました神田小学校の取り組みをちょっと報告をと思ったのですけれども、地域、行政、企業、小・中学校、県内外の大学とも交流を深めて色々な行事に取り組んだり、地域の方と色々作業をされている報告があって、地域の声としては「商品開発や、提案、研究を生徒達と共に進めて頑張っていきたい」という意見や、保護者の方達も「子供達がいきいきと取り組んでいるので、とても参加できて嬉しい」という声だったんですけれども、教員の方の声としては、「ボランティア作業で出ていくのはとても意義があるけれども、例えば普通科の生徒達は勉強に取り組みたい」と「その時間を進学に向けた子達にはちょっと負担があるっていう意見もあります」というご意見はありました。生徒達の声としては「今まで地域の活動に関心を持っていなかったけれども、郷土の魅力とかを感じる、そういう役立つ仕事がしたいって思いになった」という声を聞いて、素晴らしいなと私は思いました。最後に、教育長さんのお話があったのですけれども、「もちろん地域貢献の取り組みは就職する生徒さん達にとっては、社会に出る直前なのでとても意義があることであると同時に、また、進学する生徒さん達にとっても何のために勉強するのか、目的、目標、将来を見据えて考える契機になるというふうに思うのでとても良いことだと思う」ということで、「また今後も全国に導入を進める」というお話でした。以上です。

波佐間清(教育長)

はい。県の移動教育委員会にも行っていただいたようで、報告ありがとうございました。他の委員さん、藤井委員さん報告がありますか。

藤井悦子(教育長職務代理者)

高校生のコミュニティ・スクールというのは、就職を考えている子供達にとって有益であるのは当然ですが、進学を考えている子供達にとっても、何のために勉強するのか、何のために進学するのかを考える機会になるのではないかと思います。自分の目標を見つけて、そのための勉強をするという意識付けは、子供達の将来に良い影響を与えると思うので、高校生のコミュニティ・スクールが普及すると良いなと思いました。

波佐間清(教育長)

はい。ありがとうございました。他の委員さん何かありますか。良いですか。古城さん、先ほどの龍馬の話や、今展示している歴史博物館でのこと、それからこの前のシンポジウム。凄い人を集められた、そのあたりのことについてもちょっと補足をしていただければと思います。お願いします。

古城春樹(歴史博物館館長補佐)

歴史博物館です。先般の10月28日土曜日に、生涯学習プラザの方でシンポジウムを開催させていただきました。おかげをもちまして、ご来場者数はおよそ500名となりまして、盛況のうちを終えることができました。本当にありがとうございました。また、委員の皆さん、教育委

員会の各課では課長さんを始め職員の皆さん聞きに来ていただいて、上で登壇されてお話されている方も本当に楽しそうに、その後「皆さん良く聞いてくれて、本当にありがたかった」という話をいただきました。それから、展覧会の方ですが、先ほど教育長からお話ありましたが、下関市立歴史博物館には、坂本龍馬の関係の資料が全部で32点ございます。手紙が25通、それから物、写真とか、飯碗、湯呑み、そういうのを入れますと、それが全部で32点収蔵しております、日本一の数を誇っております。その関係もございまして、展覧会の方には、各方面、東京、大阪、福岡と各地からおいでになって下さっております。坂本龍馬の没後150年の記念シンポジウム、展覧会の方は以上でございます。

もう1点、本日未明、世界記憶遺産の方も登録勧告がございました。この点につきまして簡単にご説明申し上げます。詳しくは次回の定例会でご報告させていただきたいと思っておりますが、登録になりました資料につきましては、下関市内で5件10点ございます。そのうち歴史博物館が4件9点収蔵しております。この登録に関しまして、2月3日から3月11日の間に記念の特別展を開催させていただく予定にしております。また、本日の未明でしたので緊急ですが、11月1日から11月5日まで、博物館の方でこの緊急の展示をさせていただきます。この中に赤間神宮さんが所蔵の物、それから博物館で所蔵している資料の一部を展示させていただきます、皆さんにご覧いただきたいと思っております。是非、足を運んでいただければと思います。以上でございます。

波佐間清(教育長)

はい。色々報告ありがとうございました。シンポジウムの方のメンバーをあれだけ集めるというのは、本当に凄いことだなあ、と私自身も強く感じました。坂本さんと話をした時に、余談ですが、坂本家が明治維新後どうしたかと、龍馬が死んだあと坂本家はどうかという話を少しされました。北海道の開拓の方に力を注いで北海道の方に皆行かれました、と。そういう中でもう1つ。お土産で有名な六花亭。あれの商標か、デザインか何か、坂本家の方がされたという話もありました。そういう動きをされていたというのを初めて知って、びっくりしました。他にも西郷さんの話しぶりは、もう3日に1回講演をしておられるようで、講演慣れをしておられて、ツボを本当に掴んで話をされ、また、薩摩弁というかあの方言を使って語られると余計心に響くというか、そんな感じが私には非常にしました。また、下関に呼んで講演をしてもらいたいと強く感じたところでもあります。また、ユネスコについても報告は次の会で正式にやろうかとは思いますが、そういう方向に進んでいるということ、そのあたりも新聞に今日出ていますので、読んでいただければと思っています。

はい。委員の皆様、それから課長さん方の方でその他報告が何かありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

(はい)

波佐間清(教育長)

それでは、ないようですので、議事について全て終わりますが、次回につきまして、次回の定例会の日程は11月24日金曜日、9時半からということで当センターの3階でありますので、予定を入れておいていただければと思います。委員の皆さんよろしいでしょうか。

(はい)

【閉会の宣告】

波佐間清(教育長)

それでは、本日の議事につきましてはすべて終了いたしました。以上で定例会を終了いたします。お疲れでございました。

(お疲れ様でした)

署名

教育長

署名委員

署名委員

作成職員
